

【問い合わせ先】

第八管区海上保安本部

広報地域連携室

奥野哲也・今出高廣

TEL 0773-76-4100（内線2111・2117）



平成28年8月25日

第八管区海上保安本部

舞鶴港の明治から現在までの海図を一堂に展示！

～舞鶴赤れんがパークで「海の地図展」を開催

日本周辺の3D海底地形図や軍機海図も展示～

9月12日に第145回「水路記念日」を迎えるにあたり、第八管区海上保安本部では、9月7日から13日まで、旧海軍ゆかりの舞鶴赤れんがパークで「海の地図展～海図で見る舞鶴の歴史～」を開催します。

「海の地図展」では、舞鶴の明治時代から戦中、戦後の高度経済期を経て現在までの海図を一堂に展示する他、日本周辺の3D海底地形図や旧海軍の鎮守府が置かれていた「舞鶴、横須賀、呉、佐世保」4港の軍機海図（当時、軍事機密として一般には公開されていなかった海図）など、約15点を展示します。

日本における海図の作製は、明治4年（1871年）、当時の兵部省海軍部に設置された水路局で始まり、現在は海上保安庁海洋情報部がその業務を引き継ぎ、今年で145年目を迎えます。

1 日時

平成28年9月7日（水）～13日（火） 午前9時から午後5時まで

2 場所

舞鶴赤れんがパーク 赤れんが3号館（まいづる知恵蔵）2階

「旧海軍の港町・舞鶴」展 会場内 ※入場無料

3 展示内容

(1) 舞鶴の海図の変遷

舞鶴港の発展の歴史を、海図を通してご覧いただけます。

(2) 日本周辺3D海底地形図

海上保安庁がこれまでに実施した海洋調査を基に作成した日本周辺の海底地形図で、「3Dメガネ」をかけることにより海底地形を立体的にご覧いただくことができます。（3Dメガネは会場にご用意しています）

(3) 軍機海図

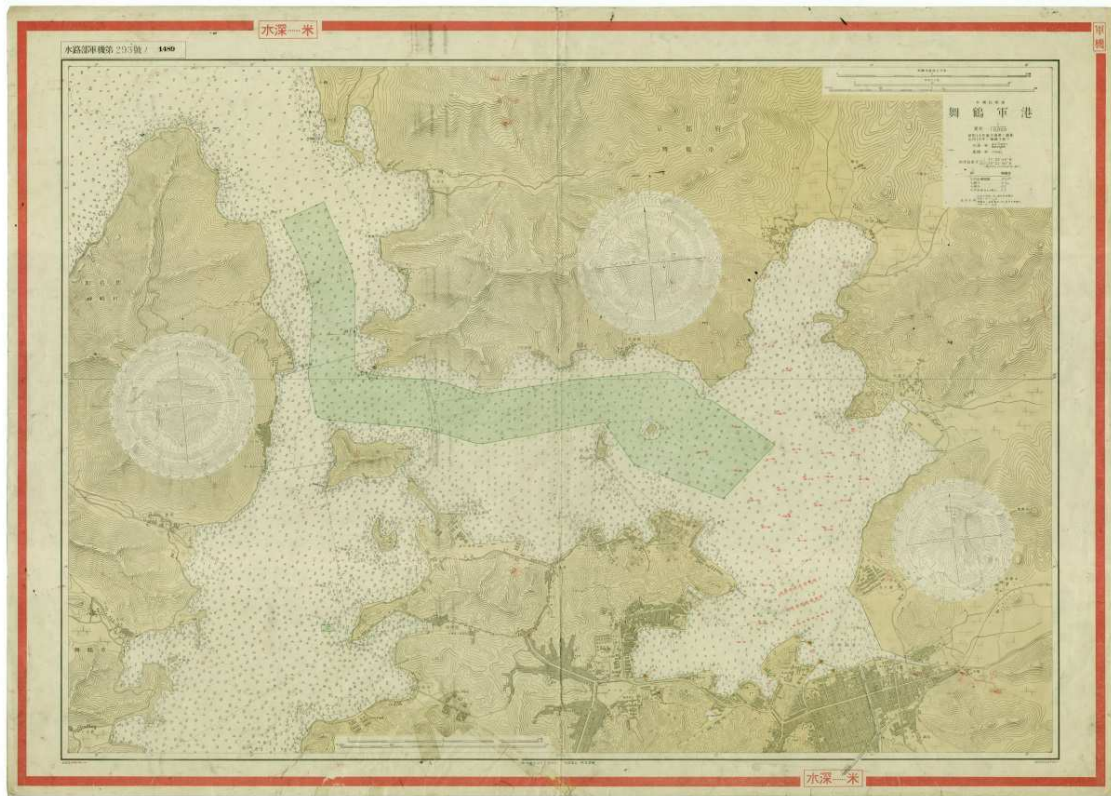
舞鶴、横須賀、呉及び佐世保の軍機海図。

これら4つの街は、本年4月に文化庁から日本遺産「鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴～日本近代化の躍動を体感できるまち街～」に認定されました。

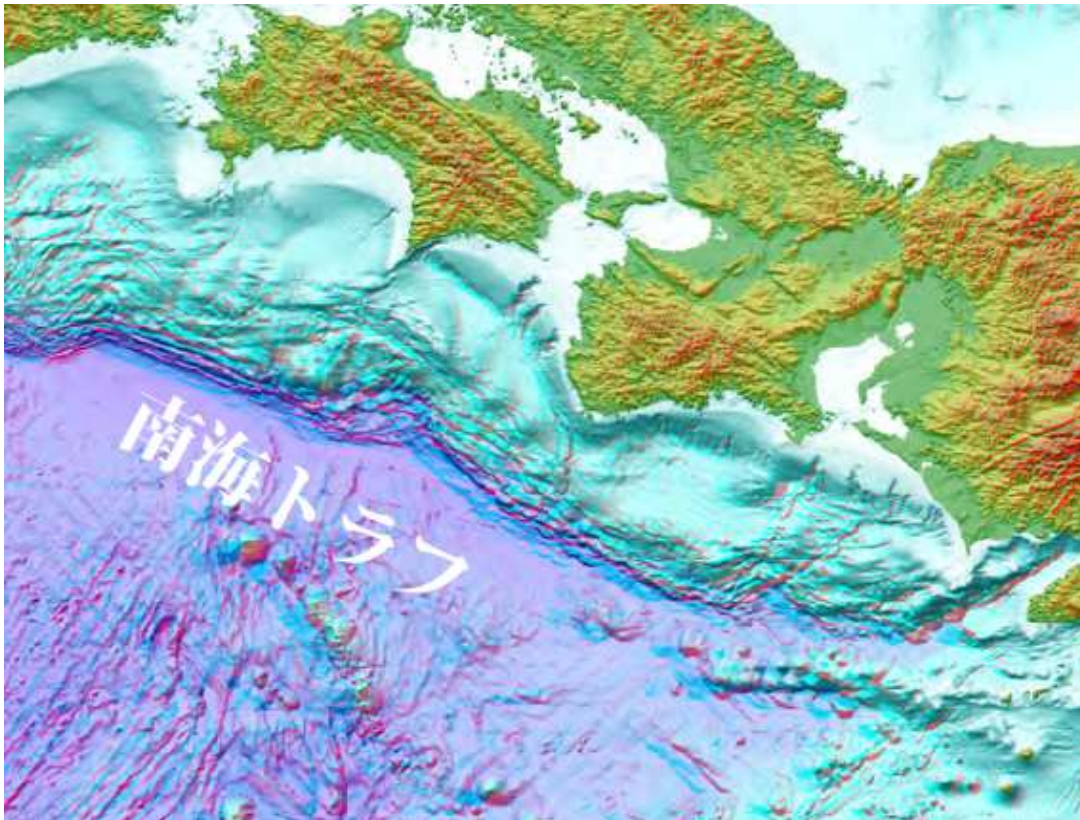
(4) その他

- ・舞鶴、若狭湾周辺の伊能図（現在の海図と比較してご覧いただけます）
- ・水路記念日紹介パネル

展示の一例



軍機海図「舞鶴軍港」（昭和18年刊行）



日本周辺3D海底地形図（抜粋）